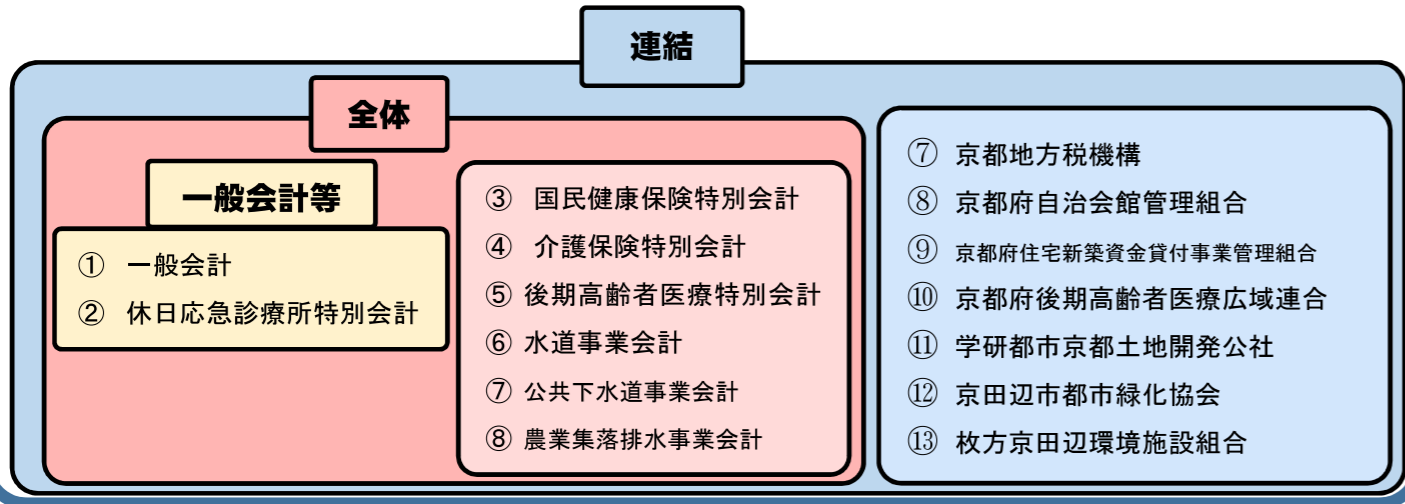


統一的な基準による財務書類4表【概要】

京田辺市では発生主義・複式簿記の考え方をういた統一基準による財務書類4表を、以下の連結範囲で公表することとします。【基準日令和5年3月31日】



貸借対照表（普通会計）

どのような資産を、どのような負担で蓄積したかを表すものです。 単位：億円

借 方				借 方			
区 分	一般会計等	全体	連結	区 分	一般会計等	全体	連結
● 資産の部				● 負債の部			
将来の資金流入をもたらすもので、行政サービスの提供能力を有するもの。				地方債や将来支払われる職員の退職金など、将来世代の負担で返済していく債務です。			
固定資産	945	1,384	1,419		241	512	539
道路や学校など、公共サービスを提供するために所有している資産です。				● 純資産の部			
流動資産	912	1,314	1,327	資産の形成に対して、市税などを通して現在までの世代が既に負担してきた部分です。			
現金と、将来的に現金化が可能な資産です。					704	872	880
	33	70	93				

POINT

- ・資産は、一般会計等で945億円となり、市は基準日時点でこれだけの資産を所有していることとなります。
- ・一方、資産形成にあたり将来世代に先送りした負担を示す負債は241億円、過去及び現役世代がすでに負担した純資産は704億円となりました。
- ・以上のことから、本市では社会資本の形成に関して、将来世代の負担分は約25%となっており、資産形成の約75%を過去及び現役世代で負担したことになります。

行政コスト計算書

1年間の行政サービス提供に要したコストから収益を差し引きして、正味の行政コストを表しています。 単位：億円

区 分	一般会計等	全体	連結
● 経常損益 C (B-A)	△ 264	△ 369	△ 451
経常費用 (A)			
通常の行政サービスの提供に要した費用で			
	276	402	493
経常収益 (B)			
通常の行政活動に伴い生じた収入です。			
	12	33	42
● 臨時損益 D (E-D)	△ 1	△ 1	△ 1
臨時損失 (D)			
災害等臨時的に発生した費用です。			
	1	1	1
臨時利益 (E)			
売却益等臨時的に発生した収入です。			
	0	0	0
● 純行政コスト (C+D)	△ 264	△ 369	△ 452
一年間の行政サービス提供コストから収益を差し引いたもので、正味の行政コストを示すものです。			

POINT

- ・純行政コストは一般会計等で264億円となりました。
- ・住民1人当たり（令和5年1月1日現在住民基本台帳人口）の行政コストは、371千円となりました。

資金収支計算書

市での現金取引を3つの主要な活動に分類し、現金の増減とその残高を明らかにしています。

POINT

- ・一般会計等では、業務活動収支と財務活動収支で赤字となったものの、投資活動収支で28億円の赤字となったことから、当期変動高が4億円の減となり、令和4年度末資金残高は7億円になりました。
- ・利息支払や基金積立等を除く業務活動収支と投資活動収支の合計である基礎的財政収支（プライマリーバランス）は約12億円の赤字となりました。

純資産変動計算書

1年間の純行政コストと税金などの一般財源を比較することで、コストがまかなえているか、純資産がどう変動したかを示します。 単位：億円

区 分	一般会計等	全体	連結
● 期首 (R3 度末) 純資産残高	698	862	871
● 本年度差額	0	1	1
● 純行政コスト (△)			
当年度の行政サービスの提供に必要なとなるコストです。			
	△ 264	△ 369	△ 452
● 財源			
市税、国や府の補助金など、純資産の増加要因となるものです。			
	264	370	453
● 固定資産等の変動等	6	8	9
● 期末 (R4 度末) 純資産残高	704	872	880

POINT

- ・一般会計等では、行政コスト及び財源がよも264億円となり本年度差額は0億円（4,900万円）となりました。
- ・固定資産等の変動等により純資産額が6億円増加したことにより、令和4年度末純資産は704億円となり前年度末残高より増加しました。

単位：億円

区 分	一般会計等	全体	連結
● 期首 (R3 年度末) 資金残高	12	42	46
● 当期変動高	△ 4	△ 3	△ 3
業務活動収支			
市が行政サービスを行う中で、毎年度継続的に行われる収入、支出の合計です。			
	15	33	11
投資活動収支			
道路・学校などの資産形成や、投資、貸付金などの収入、支出の合計です。			
	△ 28	△ 38	△ 30
財務活動収支			
地方債等の借入収入や返済に対する支出の合計です。			
	8	2	17
● 期末 (R4 年度末) 資金残高	7	39	43